



# はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月の素朴な疑問

## 日本の四季の特徴をもたらしているものは何？

それは、日本が世界最大の海洋「太平洋」と世界最大の大陸「ユーラシア大陸」の境界付近に位置しており、季節によって様々な気団の影響を受けることが原因です。

熱帯以外の中緯度から高緯度にかけては、四季の変化があります。その中で、ご存じのように日本には春夏秋冬それぞれに特徴的な季節があります。野山や空のようすを思い浮かべても、春は桜をはじめ多くの草花や新緑の季節、梅雨が明けて真夏になると夕立や入道雲、秋になると山は色づき、冬は木々も枯葉を落とし日本海側では大雪の日もある。このように日本固有の四季があるのはどうしてでしょうか。

最近、テレビや新聞の気象解説のなかで「偏西風」という言葉が使われることが多くなりました。偏西風はちょうど日本の位置する中緯度あたりの上空で、空気が帯状に西から東に地球を一周する空気の流れです。この偏西風があるために天気は西から東へと移り変わります。また、偏西風の位置や強さは季節によっても変化します。夏は日本の北を流れて弱まることが多く、冬は日本上空を流れて強まります。このため、日本付近では季節によって特徴的な気圧配置が現われます。

さて、地球儀を見ると、日本は世界最大の海洋「太平洋」とロシアや中国のある世界最大の大陸「ユーラシア大陸」の境界付近に位置しています。さらに大陸との間に日本海があります。このことが日本の豊かな四季の原因にもなっています。



太平洋上にはたくさんの水蒸気を含んだ暖かく湿った空気があります。また、大陸上には乾いた空気があります。このように広範囲にわたって同じ性質をもった空気を気団と呼んでいます。日本は季節や気圧配置によって、これらの気団が交互に流れ込む場所にあります。

春は偏西風によって低気圧や高気圧が西から東へ移動して天気が周期的に変化する季節です。春か

ら夏の間にはれるのが「梅雨」で、梅雨前線が日本付近に長期間停滞し、たくさんの雨が降ります。真夏になると偏西風は日本の北を流れ、太平洋高気圧が勢力を強めて日本を覆うようになると熱帯並みの暑さとなります。秋になると偏西風は再び南下し、天気は周期的に変化するようになります。冬は大陸上の空気はとても冷やされるのでシベリア気団が強まります。日本付近が冬型の気圧配置になると、北風とともにシベリア気団の寒気が流れ込んできます。この寒気が日本海を通るときに雪雲を発生させて日本海側に大雪を降らせることもあります。また、日本の南に広がる太平洋は海水温が高く台風の発生や発達に好都合な場所となっており、フィリピンの東海上などで発生した台風はさえぎられることなく海上を通過して日本に接近することになります。

このように日本は、季節や気圧配置によって多様な性質を持つ幅広い気団の影響を受けるために、はっきりとした日本固有の四季の変化があるといえます。

## 編集後記

気象台も新型コロナの影響を受けて4月号は発行できませんでしたが、学校の再開に合わせてこれからは通常どおり発行していきたいと思えます。これからもよろしくをお願いします。

## はれるんマガジンについて

このメールマガジンは、小・中学校の先生方を対象として2019年からほぼ毎月(1月、3月、8月を除く)発行しています。気象台の仕事に関係した身近な話題を取りあげ、自然現象や防災について学校の先生方を通じて児童・生徒さんに関心をもってもらうことを目的としています。毎号、素朴な疑問に答えるシンプルな読み物形式としています。

## ご意見をお待ちしています

お気づきの点があればご意見をお寄せください。また、素朴な疑問や質問を募集します。電子メール、Fax、あるいは郵便(はがき、封書)で下の宛先までお送りください。お待ちしております。

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36

福岡管区気象台防災調査課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

Fax：092-725-3163

e-mail：[fukuoka\\_bousaichousa@met.kishou.go.jp](mailto:fukuoka_bousaichousa@met.kishou.go.jp)

●マークは半角@に置き換えてください

次回の発行は6月の予定です。